

ばんからごうし

第19号
2002年
6月発行

編集・発行

社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2 TEL.075-822-1011 FAX.075-822-1829
http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06

区民フォーラムの ご案内

中京区社会福祉協議会は、設立して本年度で五十周年を迎えました。これを記念して区民の誰もが参加していただける「中京区社会福祉協議会設立五十周年記念 区民フォーラム」を開催することとなりました。

本会では昨年九月から、区内にお住まいの方々と福祉関係者がともに築き上げる地域ぐるみの福祉活動の計画づくりを行っています。その作業のひとつとして、三月のはじめに中京区民生活実態調査を行っております。

区民フォーラムではその結果をご報告するとともに、今後の中京の福祉のまちづくりについてご議論いただく場としていきたいと思っております。多くのおみなさまのご参加をお待ちしております。

中京区社会福祉協議会設立50周年記念 区民フォーラム

◆開催日時：平成14年7月10日(水)
午後1時30分～4時

◆開催場所：全日空ホテル 2階 平安の間

◆内 容：
テーマ「中京区民のくらしと福祉のまちづくり
～区民でつくる地域福祉活動計画」

基調報告「中京区民のくらしの課題～中京区民生活実態調査結果から」

報告者 藤井伸生氏 (中京区地域福祉活動計画策定作業委員長 華頂短期大学助教授)

シンポジウム

報告①学区社会福祉協議会の取り組み

②区内の高齢者を支える関係施設から

③地域子育て拡充事業からみる子育ての現状と課題

④開かれた施設づくりと福祉のまちづくり

コーディネーター 井岡 勉氏 (中京区地域福祉活動計画策定副委員長 同志社大学教授)

◆参加費：無料

中京区地域福祉活動計画 策定だより

昨年九月からさまざまな関係者に参画していただき、計画策定の作業をしてまいりました。作業は来年三月まで続きますが、これまでに、策定委員会を二回、作業委員会を九回開催し、作業と協議を重ねるとともに、中京区民生活実態調査を実施しました。今回はこれまでの作業の内容と浮き

策定にかかわってくださっている方々

学区社協・民生児童委員・施設関係・当事者組織・市民団体・ボランティア組織・地域団体・行政関係・学識経験者などから

「中京区地域福祉活動計画」策定委員に二四名
「中京区地域福祉活動計画」作業委員に二二名

ほりになった課題を簡単にまとめてみました。

(二面・三面へ)

中京区
地域福祉活動計画
策定だより

地域で 生きていき 子育て・福祉支援

〔地域での福祉活動について〕

中京区には二三の元学区があり、それぞれに学区社会福祉協議会が組織されています。各学区とも独居高齢者の昼食会や、最近ではサロン活動など高齢者問題について取り組んでいる所は多いのですが、障害のある人たちの問題や子どもたちの問題、小さい子どもたちを育てている親の問題については、これから取り組まなければならない課題といえるでしょう。ただし、それらの層の人たちがだけおられて、どのように困っておられるのかという情報を、把握することが難しいことが指摘されています。

地域の民生児童委員さんや独居高齢者の見守り活動を行う老人福祉員さんでさえ、必要な情報をつかむことの難しさを多く指摘されています。ところで、近年都心部ではマンションが増えています。子育て真っ只中の若い世代の家族が多いマン

ションもあれば、学生たちに混じって、単身の高齢者が住んでいるマンションもあるようです。住民の自発的な地域活動である学区社協の活動のお知らせは、今のところ町内会を通じて行っているところがほとんどですが、町内会に加入していないマンションもあるようで、情報が行き渡らないこともしばしばあるようです。またその一方で、マンション内で独自に自発的な支えあいの活動が起こっている例もあるようです。

このようにマンションに居住している人たちとに情報共有していくかは、今後の地域活動を展望していく上で、考えていかなければならない点です。マンション数が増加している最近の中京区を象徴する課題といえるのではないのでしょうか。

〔施設関係について〕

中京のまちは堀川通をはさんで、雰囲気の違いが広がって

います。社会福祉関係の施設は、堀川から西の地域に偏在しているのが特徴的です。そのことによって、福祉サービスを受けようと思っても同じ中京区に住みながら東部と西部とでは受けられる量に差が生じてきているといえるのです。特に中京の最東部の地域では繁華街があることから、しばしば交通渋滞が発生しており、デイサービスなどの車を使って実施するようなサービスを提供しにくい状況にあるようです。

児童関係を見ても、十四歳以下の子どもは京都市全域でみると十年ほど連続で減っているにもかかわらず、中京区では三年連続で増加をしています。中京区は今後、子育て支援の強化が特に必要な地域になってくると考えられます。東地域でもファミリー向けのマンションが増えていますので、若い世代層の流入やそれに伴う子育て層の増加が予想されますが、今のところ保育園や児童クラブ事業を行っている児童館は堀川通から東の地域には設置されていません。今後、共働き世帯等からのニーズも高まっていくことが予想されます。

障害者関係の施設の利用者は自宅からの距離で施設を選択しておられるのではなく、障害の状況や出身校、所属しておられる障害者団体の違いによって選択されるケースが多く、中京区に設置している施設でも中京

策定委員会・作業委員会の開催状況

開催年月日

主な内容

一三・九二〇

第一回策定委員会（本委員会）
◇地域福祉活動計画の概要

一三・一〇一〇

第一回作業委員会
◇地域福祉活動計画の概要
◇今後の作業予定と作業テンポ

一三・一一二二

第二回作業委員会
◇中京区内の学区社協についての現状報告

一三・一二一八

第三回作業委員会
◇施設関係からの現状報告
①障害者施設から
②児童施設から
③障害者・高齢者複合施設から
④高齢者施設から
⑤高齢者ネットワーク（高齢者保健福祉関係機関から）

一四・一・一八

第一回策定委員会（本委員会）
◇策定これまでの経過について
◇中京区学区基礎データについて
◇作業テンポについて
◇生活実態調査について

一四・一・二三

第二回作業委員会
◇ボランティアグループからの現状報告
①区内ボランティアグループから
②市民互助団体から
◇生活実態調査の検討

一四・二・二七

第三回作業委員会
◇生活実態調査調査票の内容協議

一四・三・一九

第四回作業委員会
◇生活実態調査の状況報告
◇当事者団体からの状況報告
①中京区身体障害者団体連合会から
②精神障害者授産施設家族会から

一四・四・二四

第五回作業委員会
◇生活実態調査の結果
◇民生児童委員会からの状況報告
◇行政機関からの報告
◇地域振興課より

平成13年度中京区社会福祉協議会一般会計決算

預金利息	143,299
一般会費	442,000
賛助会費	11,940,600
市社協補助金収入	7,330,060
その他補助金収入	1,193,500
受託金収入	2,862,720
共同募金配分金収入	10,427,808
事業収入	1,467,000
寄付金収入	4,390,885
繰越金収入	2,308,501
合計	42,506,373

法人運営費	6,876,254
施設団体・施設育成費	2,261,921
ボランティアセンター事業費	2,400,000
在宅福祉サービス費	3,005,966
生活福祉資金貸付事業費	657,000
受託事業費	2,919,420
学区社協事業費	13,877,267
広報費・研修費・調査費	3,373,482
高齢者・障害者・児童福祉事業費	1,693,719
その他支出	878,847
基金繰入金	1,194,060
繰越金	3,368,437
合計	42,506,373

別途職員費 18,960,000円

平成14年度資金収支予算書

勘定科目	経理区分	総予算額	法人運営事業			
			法人運営事業	学区社協支援事業	在宅福祉サービス事業	ボランティアセンター事業
収入	1.会費収入	12,444	12,444	0	0	0
	一般会費収入	444	444	0	0	0
	賛助会費収入	12,000	12,000	0	0	0
	2.寄付金収入	200	0	0	200	0
	3.市・府社協補助金収入	23,242	20,123	986	0	2,133
	4.受託金収入	6,096	0	0	6,096	0
	5.事業収入	4,500	3,000	0	1,500	0
	6.共同募金配分金収入	9,628	9,628	0	0	0
	7.雑収入	50	50	0	0	0
	8.受取利息配当金収入	150	150	0	0	0
	9.経理区分間繰入金収入	7,314	2,570	3,969	150	625
10.地域福祉基金取崩金	2,500	2,500	0	0	0	
11.前年度繰越金収入計	3,300	0	2,725	300	275	
収入計		69,424	50,465	7,680	8,246	3,033

(単位：千円)

勘定科目	経理区分	総予算額	法人運営事業			
			法人運営事業	学区社協支援事業	在宅福祉サービス事業	ボランティアセンター事業
支出	1.人件費支出	24,419	19,451	0	3,280	1,688
	2.事務費支出	8,293	8,093	200	0	0
	3.事業費支出	9,605	5,359	580	2,876	790
	4.共同募金配分金事業	9,628	9,628	0	0	0
	5.助成金支出	8,190	0	6,900	1,290	0
	6.負担金支出	100	100	0	0	0
	7.経理区分間繰入金支出	7,414	6,634	0	500	280
	8.地域福祉基金積立	1,200	1,200	0	0	0
	9.予備費	575	0	0	300	275
	支出計		69,424	50,465	7,680	8,246

(単位：千円)

●社会福祉法人の会計の取り扱いが変わりました。

本会は、平成14年度から新しい経理規定に基づいて予算編成を行っています。

そして、経理区分(横軸)を設け事業ごとに予算を組んでいます。

経理区分 法人運営事業……事務所維持管理、共同募金配分事業に関する予算(14年度は特別に50周年記念事業予算も計上しています)

学区社協支援事業……共同募金配分以外で、学区社協の支援に関わる予算

在宅福祉サービス事業……各学区のすこやか学級(高齢者のサロン)事業、本会の高齢者ミニデイサービス事業・高齢者いきいきサロン事業に関する予算

ボランティアセンター事業……区ボランティアセンター関係に関する予算

各学区社協を通じ募集している賛助会費は現在集計中です。集計ができましたら本誌上でご報告いたします。

区民の利用がわずかである施設は少なくありません。障害のある人の問題理解を少しでも多くの人たちに広げていくことが大切であり、その一歩として、施設の近隣の住民との良好な関係を築いていくことが大切であると、施設の職員さんは痛感されています。

これからの作業は引き続き行っていきます。

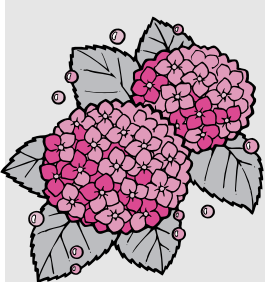
今後は、生活実態調査を実施した

学区におじゃまして、住民のみならずと学区の課題について話し合う懇談会を開催して、その声を計画に反映させていこうと考えています。

また、生活実態調査の結果は、次回のべんがらごうしに掲載する予定ですので、お楽しみに！



開催年月日	主な内容
一三・三・一〇 三九	<p>中区民生活実態調査 調査対象地域：朱一・朱五・富有・龍池・教業・立誠学区の中の一、二カ所程度の全世帯世帯調査 調査方法：聞き取り 調査員：学識者四名 学生三八名 地域住民六名 (調査票確認者 上記と地域住民二名) 対象世帯数：六六三世帯 回収四八五 回収率：七三・二%</p>
一四・二・二五	<p>第三回調査員学習会 ①中京区の特性について ②グループ交流 ③調査票について</p>
一四・二・二八	<p>第一回調査員学習会 ①調査のあり方について ②グループ交流</p>
一三・二・二六	<p>第一回調査員学習会 ①調査を行うにあたって ②中京区社協について ③調査員自己紹介 ④経験者より調査に参加しての感想 ⑤グループ交流</p>
一四・五・二八	<p>第八回作業委員会 ◇行政機関からの報告② ①長寿社会課より ②支援係より ③保健所より ◇区民フォーラムについての内容協議</p>
一四・六・二二	<p>第九回作業委員会 ◇生活実態調査詳細結果報告と意見交換</p>



■手話教室



近年、多くのメディアで手話が取り上げられることで聴覚障害について多くの関心が寄せられています。しかし、聴覚に障害をおもちの方の生活上の困難については、十分に理解されていない状況にあります。

そこで、中京区ボランティアセンターでは、聴覚に障害をおもちの方との日常生活レベルでの基本的なコミュニケーションについて、手話を中心に「楽しく」学習する『手話教室』を下記の日程で開催することとなりました。

- 会場：中京区地域福祉センター
- 対象：中京区内にお住まいの方で地域福祉・ボランティアに興味のある方(年齢・経験は不問)
- 定員：昼・夜両コースとも各30名
- 申し込み〆切：7月22日(月)
- 申し込み・お問い合わせ：中京区ボランティアセンター TEL.822-1011 FAX.822-1829

初心者向けの
内容です。

	昼の部・午後1:30~3:30	夜の部・午後7:00~9:00	内 容
第1回	8月7日(水)	8月7日(水)	「聴障者の生活から」 一聞こえないということはどういうことか 実技「あいさつ」「名前」等
第2回	8月21日(水)	8月21日(水)	「聴障者の生活から」 一伝えてみよう 実技「仕事」「家族」「復習」等
第3回	8月28日(水)	8月28日(水)	実技「自己紹介をしましょう」 交流「カード遊び」「フルーツバスケット」 サークル紹介

■中京区青少年の福祉体験事業 ユースアクション2002

「ボランティア活動をやってみたい」、「介護や保育の仕事に興味がある」、「でも勉強やクラブ活動で時間が取れなくて…」そんな中高生のみなさん、「中京区青少年の福祉体験事業(ユースアクション2002)」に参加してみませんか?

ユースアクションとは、夏休み期間に中京区内の社会福祉施設で3日間程度のボランティア体験をするものです。福祉の勉強もできるし、いろんな体験もできますよ。せっかくの貴重な夏休み、新しい自分探しをしてみませんか?

【プログラム】

- 事前研修：7月22日(月) 予定
- 内容：「ボランティアってなに?」「体験先施設よりの説明」「私の決意表明」
- 体験期間：7月23日(火)～8月23日(金)
- 体験先：中京区内の社会福祉施設(児童福祉施設・高齢者福祉施設・障害者福祉施設)〔現在調整中〕
- 事後交流会：8月26日(月) 予定
- 申し込み方法：所定の申込用紙に必要事項を記入の上、郵送またはFAXにて本会までお申し込み下さい。(申し込み用紙は、中京区内の各中学・高校に配布しております。)
- 申し込み〆切：7月15日(月) 必着
- 申し込み・お問い合わせ：中京区ボランティアセンター
TEL.822-1011 FAX.822-1829

中京区ボラン
ティアセンター
からの
お知らせ

本会の事業・運営に関わる苦情・ご要望がございましたら、本会までお申し出ください。お申し出については真摯に受けとめ適切に対処してまいります所存です。また本会に直接お申し出がしにくい場合には、中立公正な第三者委員に直接申し出ることができます。

中京区社会福祉協議会／中京区ボランティアセンター

●電話：822-1011 ●ファックス：822-1829 ●Eメール：fukusi06@mediawars.ne.jp